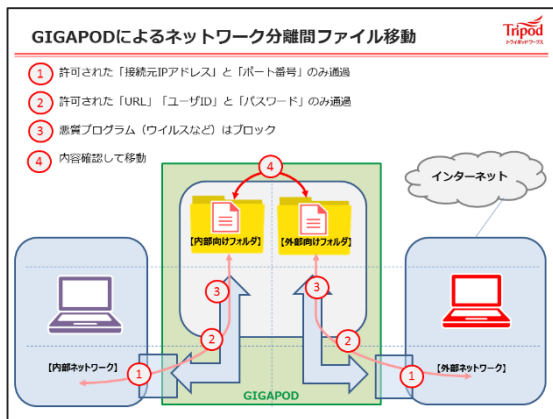


官公庁・自治体、社会インフラ企業など向けネットワーク分離対応製品の販売を開始 ～ 異なるネットワークセグメント間で安全なファイル転送を実現 ～

トライポッドワークス株式会社（本社：仙台市青葉区、代表取締役社長：佐々木 賢一「以下トライポッドワークス」）は、2016年9月5日からネットワーク分離環境を前提としたファイル転送ソリューションの販売を開始します。



現在、官公庁・全国自治体を筆頭にして公共機関や金融機関、社会インフラ企業（電力、ガスなど）では、情報セキュリティ対策の1つの手法として、インターネットへ接続可能なネットワーク（情報系）とインターネットからの接続を物理的に遮断された内部ネットワーク（基幹系）との大きく2つに分ける「ネットワーク分離」対応への環境移行が進んでおります。本環境では異なるネットワーク・セグメントの間での電子データの受け渡し手段が必須となっており、トライポッドワークスはこれまで法人向けオンラインストレージ製品として3,000法人以上の導入実績のある「GIGAPOD（ギガポッド）」を改良することで、上記課題に対応したファイル転送ソリューションを提供します。

トライポッドワークスが提供するネットワーク分離環境向けファイル転送ソリューションの主な機能

■異なるネットワークセグメント間でのファイル転送

物理的に分断されたネットワークの間を橋渡しすることで安全かつ簡便なファイルの転送が可能です。

- ・USBメモリなど物理的媒体でのファイル受け渡しが不要
- ・電子メールの添付ファイルが不要

■転送ファイルのマルウェア排除、サニタイズ

ファイルの受け渡しを行う前段階にて悪質プログラム（マルウェア）の混入を防御します。その検出に用いるセキュリティ・エンジンは従来のパターンマッチング方式のみならず最新のサニタイズ（ファイル無害化）方式も採用しております。

■運用面を配慮したセキュリティ

ファイルの受け渡し場所となるストレージ領域は論理的なアクセス制限を施しており、ユーザごとのきめ細かな権限設定が可能です。また、ストレージ領域に保存されたファイルは一定期間経過すると自動的に削除を行います。

■メール無害化製品との連携

外部からの電子メールに対して無害化対応を行う製品（ジランソフト社「SPAMSNIPER AG」など）との連携をすることで、より効果的な情報漏えい対策が可能です。特に添付ファイルを起点とした攻撃を行う標的型攻撃やランサムウェア対策への効果的な防御を実現します。

（次ページもご参照ください。）

本ソリューションの販売に関する情報

■販売目標

2017年9月までに100セット

■販売開始予定時期

2016年9月5日

(サニタイズ機能などセキュリティ強化版は2017年以降にて追加リリース予定)

■提供価格

- ・アプライアンス版 GIGAPOD Type-NS : 950,000円より
 - ・ソフトウェア版 GIGAPOD 100 ユーザ : 600,000円より
- (*ソフトウェアのユーザ無制限版は、官公庁・自治体向けのみ提供)

*今後、官公庁・自治体でのネットワーク分離環境におけるセキュリティ指針に変更があった場合、本ソリューションの仕様、価格などは変更となる可能性があります。

■トライポッドワークス株式会社 会社概要

本社所在地 : 仙台市青葉区一番町1-1-41 カメイ仙台中央ビル 7F
東京オフィス : 東京都中央区日本橋室町1-8-3 室町NSビル 5F
代表取締役社長 : 佐々木 賢一
資本金 : 74,775,000円
事業内容 : 企業向けセキュリティソリューションの開発/販売
画像処理、組込みソフトウェア等の先端技術開発
ITコンサルティング、クラウドサービス等のサービス提供
会社ホームページ : <http://www.tripodworks.co.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

トライポッドワークス株式会社 事業企画部 プレスルーム
TEL : 022-227-5680 e-mail : info@tripodw.jp

以上